



継手付自動連結器

③継手付自動連結器・・・機関車前面の自動連結器は、あまり連結には使われないため、簡素な作りになっていますが、客車・貨車とつながる炭水車側の連結器は、左右に曲がると連結器自体(連結器胴)も左右に曲がり、直進の時は腹心バネにより中央に戻るため、カーブを曲がりやすくなるようになっています。
(⇒p45「自動連結器(機関車前部)」)

解放	解放テコを少し引くと、鎖→錠揚げ→錠が引き上げられ(錠控え)、ナックルの動きが自由になる。そのまま車両同士を引き離すと、ナックルが開き車両同士が解放される。
連結	車両を連結していない状態で、解放テコを錠控え位置よりさらに上に引き上げると、錠が外れ、ナックルが開く。連結をする時は、開いた連結器同士がぶつかるとナックルの中央部が押されてナックルが閉じ、錠(錠揚げ)が落ち、ロックされる(錠掛り)。

標識灯(尾灯)

④標識灯・・・テールライトです。
レンズ面に、「HAKKOSHA」の文字があるので、白光舎(現 市光工業)製の「車両標識灯」です。
(型番は不明です)



鉄道に関する技術基準第 119 条(合図及び標識)には、後部標識として、夜間は、赤色灯または赤色反射板を 1 個以上取り付けること、ただし、停車場以外の閉そく区間は、2 個以上標識をつけること、となっています。昼間は、貫通ブレーキを使用しない列車の場合は、赤色灯または赤色反射板を 1 個以上取り付けることとなっています。(⇒p43「前照灯・副灯」)

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまいました。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会